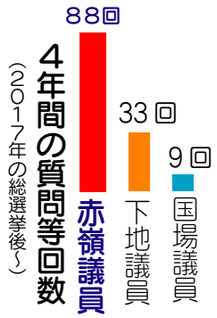
平和で誇りある豊かな沖縄・日本へ

初当選以来
国会質問等765回

1区に なくてはならない あかみね政賢



くらし、経済…

県民の声を国政に届けて

県民のくらしの向上・県経済の発展へ、調査を行い、県民の多様な声を届け、問題の解決へ向けて、政府に具体的提案を行ってきました。

◉ 観光関連業者等を調査し、コロナ対策の拡大。
◉ 子どもの貧困対策への国の財政支援拡充。
◉ 沖縄振興・国の公共事業の本土企業受注問題と基地リンクを追及、県内企業優先と地元が潤う振興。
◉ 公共工事の適正賃金支払いで、労働者所得向上。
◉ 沖縄いじめの国保交付金の改善と財政支援。
◉ コロナ禍に苦しむ琉球芸能実演家への支援対策。
◉ コロナ禍の相談で、給付金や支援金の給付実現。
◉ 生活相談活動を市議時代から行い、苦難軽減に奮闘。

翁長雄志前知事の遺志を胸に刻み

オール沖縄の発展に力つくす

基地は沖縄発展の最大の阻害要因、「沖縄の心」をひとつに、平和で誇りある豊かな沖縄を —— 翁長前知事の命をかけた思いを、我が心として誠実に尽力。

◉ 玉城県政・城間市政を国政から支えて奮闘。
◉ オール沖縄を全国の市民と野党の共闘に発展に繋げるために、沖縄のたたかいを全国で報告。
◉ 野党国会議員に呼びかけ、沖縄基地問題調査。
◉ 辺野古の埋め立ての是非を問う県民投票の成功に、若者や幅広い県民・団体と力を尽くす。
◉ オール沖縄・国会議員で沖縄問題を要請・抗議。
◉ 南城・豊見城・宮古島市など自公市政を転換。

うちなーんちゅ　うしーてーないびらんどー
まきてーないびらん
子孫（くぁうまが）のために
うやふぁーふじぬ思（うむ）い
肝（ちむ）にすみてぃ
命（ぬち）かじり　ちばらなやーさい
故・翁長雄志前知事の訴えより

命どぅ宝！反戦平和

「沖縄の心」をつらぬく

命どぅ宝・反戦平和が政治信条です。沖縄戦を繰り返してはならない、子や孫が安心して暮らせる平和な沖縄・日本・世界をめざし、沖縄の心＝憲法9条を守る先頭に立ってがんばっています。

◉ 民意無視、民主主義否定の自公政権の辺野古新基地強行と埋め立ての軟弱地盤問題を暴露追及。
◉ 戦没者の遺骨土砂の採取、泡消火剤、米軍事故・事件、宮古・八重山の自衛隊増強等を追及。
◉ 日米地位協定の抜本改定を要求。
◉ 憲法審査会で憲法9条を守るために奮闘。尖閣問題は外交的、平和的な解決を要求。
◉ 憲法違反の安保法制、住民監視の土地利用規制法の廃止に全力。

平和の礎

新しい政治をご一緒に

コロナ対策の強化

◉医療・療養確保、ワクチン接種加速、大規模検査、十分な補償と経済・生活支援。
◉米軍も検疫・規制できるよう日米地位協定抜本改定

命とくらし最優先

◉子ども貧困・一人親家庭・低所得家庭へ支援拡大。
◉消費税5％減税。中小企業支援で最低賃金アップ。正規雇用促進。男女賃金格差の解消。

足腰の強い沖縄経済

◉基地リンクをやめ、沖縄振興の目的が生かせる使い勝手の良い一括交付金に。
◉地元産業・企業・人材の育成。本島縦貫鉄軌道・LRTの導入、交通渋滞解消。

辺野古新基地ストップ

◉辺野古新基地・戦没者の遺骨土砂採取の中止。
◉立憲主義・民主主義・平和主義を回復する。
◉覇権主義への従属・屈従外交から抜け出し、自主・自立の平和外交に転換。

気候危機打開、ジェンダー平等へ

◉自然と共生する経済社会をつくる
◉多様性を大切にし、個人の尊厳を尊重する政治を。

オール沖縄＋野党共闘で、沖縄・日本を変える！

政権交代・新しい政府で「建白書」実現！

あかみね政賢　あゆみ

◉那覇市生まれ、野蛮な米軍支配体験

沖縄戦で
廃墟となった那覇市

（赤嶺政賢）
従弟と。農作業手伝い中
戦没者遺骨ひろうことも

◉那覇高校に進学、合唱部に所属
城間幹子那覇市長は合唱部の後輩

創立 111 周年の
母校・那覇高校

第 17 回全日本合唱
西部コンクール（長崎県）

◉国費学生として東京教育大学へ
全国を行脚し、「沖縄返還」を訴える

大学生時代

「沖縄を返せ」
（作詞：全司法福岡支部、作曲：荒木栄）
かたき土を破りて
民族のいかりにもゆる島　沖縄よ
我らと我らの祖先が
血と汗をもって
守りそだてた沖縄よ
我らは叫ぶ　沖縄よ
我らのものだ　沖縄は
沖縄を返せ　沖縄を返せ

◉1971年高校の国語教師に
沖縄のアイデンティティーなど
教科書にない沖縄の良さを教える

八重山高校・八重山
商工高校で勤務

弾を浴びた島　山之口　獏
島の土を踏んだとたんに
ガンジューイとあいさつをしたところ
はいおかげさまで元気ですとか言って
島の人は日本語で来たのだ
郷愁はいささか戸惑いしてしまって
ウチナーグチマディン　ムル
イクサニ　サッタルバスイと言うと
島の人は苦笑したのだが
沖縄語は上手ですねと来たのだ

1972年「施政権」返還
1973年沖縄人民党が
日本共産党へ合流

◉1974年、教師から
共産党の専従職員に

政治を変えなければ
沖縄も、子供たちの未来も
県民生活も、よくならないと
共産党の専従職員に
瀬長亀次郎党県委員長
古堅実吉書記長らと活動
多様なたたかいで、県民の
大同団結の重要性を学ぶ

1972年・初の県議選

基地付き返還に憤怒する県民の
力で、人民党（共産党）6名に躍進

◉地元の方々におされて那覇市議に
親泊革新市政を支えて3期奮闘

1985年
国吉辰雄議員のあと
を継ぎ、那覇市議へ

沖縄師範健児之塔慰霊祭を
師範鉄血勤皇隊生き残りの
古堅実吉さんと参拝

◉2000年、古堅実吉衆院議員の
あとを継ぎ、衆議院議員初当選

古堅実吉さんと
沖縄を返せを合唱

2001年
アフガン報復戦争現地調査
小池晃議員（手前）と

◉保革超えたオール沖縄で翁長県政
城間市政の誕生に奮闘。オール沖縄
代表として小選挙区・1区で連続当選。

2014年
「沖縄の心」ひとつに
翁長雄志さん
城間幹子さんと

2014年・2017年
オール沖縄代表として
小選挙区１区で当選

◉玉城県政・城間市政を支え
「沖縄の心」をぶれずにつらぬき
国会内外で誠実に奮闘

オール沖縄国会議員で
コロナ対策強化を
政府に申し入れ

戦没者の遺骨採取問題
南部地域をガマフヤー
具志堅隆松氏らと調査